

■ 都市づくりマスタープラン ~基本方針について~

● 公共公益施設の整備等の方針

公園緑地、上下水道、治水施設、小学校等の公共公益施設については適切に配置する。

● 環境保全の方針

(1) 自然環境の保全

本計画や都市計画の区域区分（市街化区域と市街化調整区域）により、市街化による都市機能の充実・強化と自然環境の保全との適切なコントロールを図る。

(2) 環境負荷の低減

「スマートコミュニティ」を目指し

- エネルギーの効率的な利用
- 環境に優しい交通システムの構築

西風新都において先導的に推進

環境負荷の少ない低炭素都市の実現

■ 都市づくりマスタープラン ～基本方針について～

● 景観形成の方針

(1) アーバンデザイン協議制度による景観形成

建築物、公共施設、宅地開発で大規模なものについては、引き続き「アーバンデザイン協議制度」に基づく事業者等との協議により、質の高い景観を誘導



(2) 景観計画による景観形成

現在の優れた街並み、緑豊かな山並みを保全するため、景観法に基づく景観計画により、建築物の建築、木竹の伐採や土石の堆積等の行為を届出の対象とすることを検討



第1部 都市づくりマスタープラン

～ 第4章 都市づくりの推進体制 ～

■ 都市づくりマスタープラン ～推進体制について～

素案P21～P22

● 基本的な役割

西風新都の都市づくりに当たっては、国、県の支援と経済界等の協力を受けながら、地域住民、立地企業、大学、民間開発事業者及び広島市が適切な役割分担と協力関係のもとに一体となって取り組んでいく。

● 企業誘致の推進策

「広島市企業立地促進補助制度」の活用や積極的なプロモーションの展開等により、企業立地をより一層推進する。

● 都市づくりに関する情報発信

- ・都市づくりを地域住民や立地企業などと協働して推進するため、計画内容を広く周知していく。
- ・また、広島市や地域住民、立地企業などが情報交流する仕組みづくりを行い、西風新都の魅力をタイムリーに発信していく。

● 時代の変化への対応

今後、社会経済情勢の変化が生じたり、新たな視点での都市づくりが必要となる場合には、地域住民等の意見を聴取した上で、必要に応じ見直しを行う。

第2部 都市づくり推進プログラム

～ 第1章 重点施策 ～

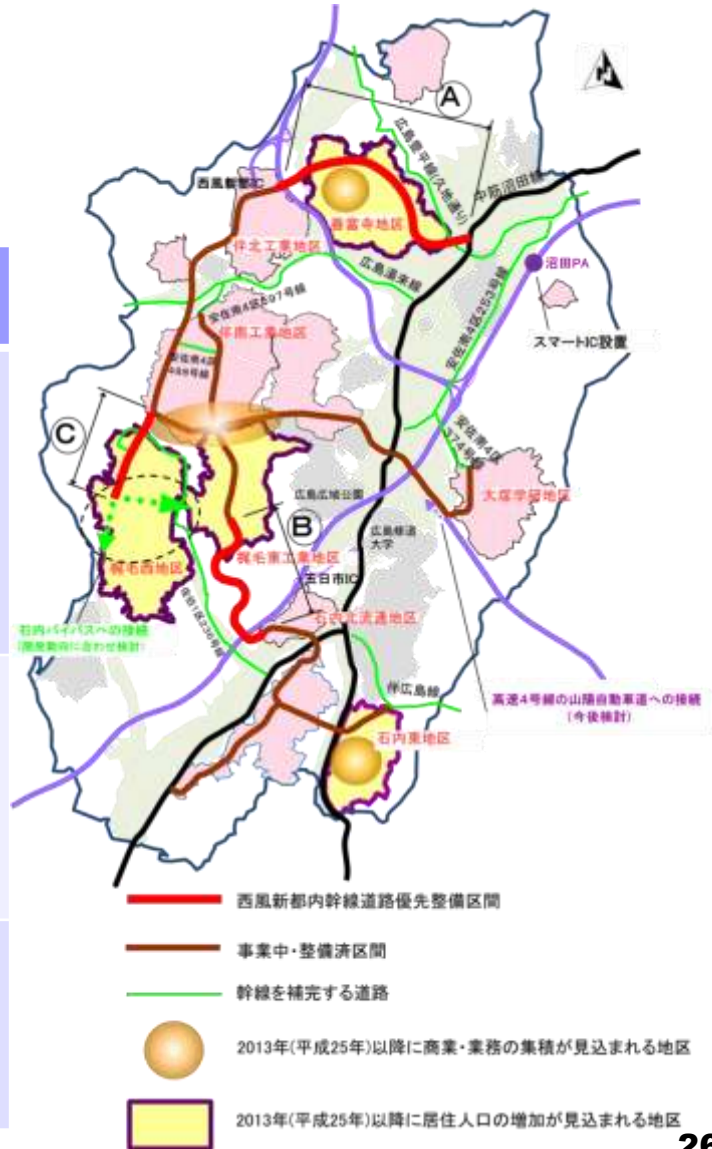
都市づくり推進プログラム ~重点施策~

● 都市内交通の円滑化 (道路整備)

(1) 西風新都内幹線道路整備プログラム

2030年(平成42年)までに環状道路を形成する。開発動向や費用対効果、地域での必要性などを総合的に勘案した上で**優先整備区間**の計画的な整備を図る。

整備区間	整備の考え方	進め方
A 環状線 (善當寺工区) 伴北工業地区 ~善當寺開発地区内 ~中筋沼田線 L=約2.9km	周辺交通対策として開発区域外(東側)の一部区間の整備に取り組みるとともに、開発区域内については、開発動向を見極め、道路整備の進め方を再検討した上で取り組む	<ul style="list-style-type: none"> 2013年度一部計画見直し 見直し後、一部事業再開 開発事業が着工された場合は、残る区間も速やかに着手
B 環状線 (梶毛南工区) 梶毛東工業地区 ~石内北流通地区 L=約1.9km	石内東地区への大規模商業施設の出店、梶毛地区の急激な人口増への対応のため、 整備に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> 2013年度計画策定 2014年度事業着手
C 環状線 (梶毛西工区) 梶毛東住宅地区 ~梶毛西地区内 L=約1.3km	梶毛西地区の開発動向に歩調を合わせて整備に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> 開発動向に合わせて着手



都市づくり推進プログラム ~重点施策~

● 都市内交通の円滑化 (道路整備)

(2) 地域活性化のための道路整備

- 沼田パーキングエリアへのスマートインターチェンジ設置を検討



沼田PA



(3) 広域的な幹線道路整備

- 広島高速4号線の山陽自動車道への接続を検討

■ 都市づくり推進プログラム ～重点施策～

● 都市内交通の円滑化（公共交通等の充実・強化）

(1) アストラムラインの延伸

アストラムラインの延伸については、現在、「利便性とコスト節約の両立」の観点から見直しを行っており、今後、**検討結果について幅広く意見を聴きながら、できるだけ早い時期に延伸事業の基本方針を決定し、その方針に沿った取組を進めていく。**

(2) 路線バス

- ・路線バスの展開等について、交通事業者と調整
- ・バス路線の新設要望等の活動を積極的に支援

(3) 生活交通の確保等

- ・乗合タクシー等の導入を積極的に支援
- ・交通のスマート化など、移動手段を確保するため、多元的に取組を進める

■ 都市づくり推進プログラム ～重点施策～

● 防災機能の充実・強化

(1) 防災拠点施設の代替機能の導入

- ・東日本大震災を教訓として、デルタ市街地の被災により現在の防災拠点施設(市役所本庁舎、消防局庁舎)の機能が損なわれる場合を想定
- ・西風新都へ防災拠点施設の代替機能を導入することについて広島市立大学隣接地を候補地の一つとして検討を進める。



(2) 消防・防災に関する訓練施設等の整備

- ・消防力を高めるための消防職員及び消防団員の訓練施設や市民の防災意識の向上を目的とした防災学習センターの整備を検討する。



(3) 情報のバックアップ機能の強化

本市重要情報を保護し、**業務の継続性確保のため**、バックアップ機能の強化を図る。

■ 都市づくり推進プログラム ～重点施策～

● 防災機能の充実・強化

(4) 消防出張所の整備

西風新都内の災害発生状況、今後の開発動向、既存出張所との位置関係等を踏まえ、消防出張所の新設を検討する。



(5) 災害時相互応援協定の締結

災害が発生した際の生活物資や一時避難場所の提供など、各種相互応援活動に関する協定を、西風新都の立地企業と自主防災組織(町内会等)との間で締結することについて検討する。

〔災害時相互応援協定の締結〕

